



学校だより

4月号

平成20年4月7日

横浜市立洋光台第三小学校

校長 長部 泉

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

自分のよさを発見し、ともに高め合って生きる子どもを育てます。

- ・自分のよさを発見し、自分の考えを伝えたり行動したりできる子どもに育てます。
- ・互いの違いを認め合い、共に高めあって生きようとする子どもに育てます。
- ・地域に働きかけて学ぶ子どもに育てます。

「カワセミが来てますよ！校長先生。」



??首をかしげながら廊下に出てみると、中庭の池の縁に、じっと水面を見つめる小さな鳥。長いくちばしに平ら頭の横顔は、ああ確かにカワセミ。

一瞬、水中の魚をねらって身を翻すと、水しぶきの中に鮮やかな瑠璃色が目に飛び込んできます。ガラス窓越しに見つめていた先生方が、カメラのシャッターを忘れて息のみ、私は着任早々の朝からカワセミの歓迎を受けました。

向こうには洋々とした磯子の海があり、ふりそそぐ太陽の光と遥かに富士をも見晴らす丘の上にある本校は、今、桜や菜の花や水仙、三色スミレが咲き、1学年ずつお姉さんお兄さんになった子どもたちを出迎えています。ピカピカの1年生も入学しました。教職員も、私も入れ替わりがあり、学校全体が新たな気持ちでの新年度のスタートです。教育目標の実現にむけて、これまでの洋三小の積み重ねや伝統を基本にしつつ教職員一同知恵と力を集めて日々の教育活動にあたってまいります。子どもたちは大切にされている自分を知り、同時に他の子たちもまと自分と同様に大切にされている「オンリーワン」であることを知る。そして、だれもが安心して豊かに生活できる学校であることが、何より私たち教職員の目指すところであり、日々の反省です。子どもたちの学校生活が家庭での安心や充足に支えられているように、もとよりそれは保護者、地域の皆様のご理解ご協力に支えられてのこと。どうぞいつでも学校に足をお運びください。そして日々の子どもの学習の様子をご覧ください。そしてもし力を貸していただけることがあれば、どうぞどんなことでも、子どもたちの輝きのために学校、学級に力を貸してください。

丘に道ができ住宅ができ店ができ、公園が生まれ、そして住む人々が力を合わせて「まち」をつくり上げてきたこの土地の歴史の中で、学校は子どもたちが勉強する場所としてだけでなく、子どもたちを中心にして保護者の皆さんが手を結び協力する場として、また「まち」の皆さんが集い活動する場としても、ずっとあり続けてきました。その流れに4月より加わることになりました。どうぞよろしく願いいたします。

またカワセミにあえることを期待しつつ、、、 学校長 長部 泉